

議会審議をピックアップ！

こんなことが決まりました！

条例（一部改正）

■熊野町事務分掌条例

■熊野町総合基本計画審議会条例

会条例

■（議員発議）熊野町議会

委員会条例

4月からの機構改革（左記参照）に伴う条例改正。

業務の変更

課名	業務（元担当課）
都市整備課	住居表示、地籍調査、建設業務（建設課）
総務課	消防・防災、関連業務（生活環境課）
開発指導課（新設）	道路管理、工事許可、建築指導、公営住宅、営繕、宅地造成、市整備課

課名の変更

新	旧
企画財政課	政策企画課
商工観光課	地域振興課

■熊野町介護保険条例

保険料の見直し（3年に1度）に伴う条例改正。平成24～26年度における保険料基準月額を5千580円（734円の増）とする。

■熊野町立公民館の設置及び管理等に関する条例

熊野町公民館運営審議会委員の委嘱の基準を、省令の基準に基づいて条例に定めるもの。

■熊野町営住宅設置及び管理条例

国の法律で定めていた入居者の資格に関するものを、町条例で規定するもの。

予算

■平成24年度予算（一般・特別会計・水道事業会計）P2に詳細。

■平成23年度一般会計補正予算

熊野第四小学校体育館と熊野中学校西校舎の耐震補強に関連する経費の増や、各種事業の執行残の整理などにより、差し引き5千55万4千円を減額。

■平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算

9千802万1千円減額。

■平成23年度公共下水道事業特別会計補正予算

3千779万8千円減額。平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算

■平成23年度介護保険特別会計補正予算

保険事業勘定6千773万3千円減額。介護サービス事業勘定18万2千円の増額。

■平成23年度上水道事業会計補正予算

収益的収入1千73万7千円減額。収益的支出1千438万5千円減額。資本的収入2千340万円減額。資本的支出760万円減額。

同意

■熊野町副町長の選任

立花 隆藏氏

その他

■熊野町指定金融機関
広島県信用組合（2年間）

質疑の一部を紹介

【熊野町立公民館の設置及び管理等に関する条例】

Q 審議会委員は何名か。

A 町公民館5名、西公民館5名、東公民館4名の計14名である。

【熊野町営住宅設置及び管理条例】

Q 税と料を滞納していないことが要件にあるが、過去の滞納はどうか。

A 現在の未納状況について確認する。

【一般会計補正予算】

Q 住民基本台帳システム改修の説明を。

A 外国人にも住民基本台帳法が適用されることになったため。

総務部門

Q 道徳教育関連について

- A
- ・公務員としての使命感や責任感を学ばせたい（立花総務部長）
 - ・学校の教育活動全体を通じ各種道徳性を養っている（藤森教育部長）

ズバリ、町政を問う

8人の議員が一般質問（全12質問）を行い、町の施策等について町執行部と議論を交わした。



渡 紘八議員

A

各職員に公務員としての使命感や責任感、自己の役割を被災後も継続的に果たすために何が必要かなどについて、日ごろの業務や会議、研修を通じて醸成していくとともに、防災訓練などを通じて具体的な行動を学ばせるようにしたい。

学校における道徳教育は、豊かな心を育成するため、他者や社会等とのかかわりの中で、生きるという実感や達成感を深めながら、学校の教育活動全体を通じ、各種の道徳性を養うことを目的としている。

Q

東日本大震災では、南三陸町の役場職員が防災無線で避難を呼びかけ続け、津波の犠牲で殉職された。

命の尊厳をどのように感じ、職員に対応を図っているか。

また、道徳教育はどうか。



藤本哲智議員

Q 23年度の一般質問

（プレミアム商品券、町内巡回バス、私道の補修）

- A
- ・地元の消費拡大が期待される（石井地域振興課長）
 - ・運行計画を作成する（民法政策企画課長）
 - ・修繕の材料を助成する方向（森本建設部次長）

Q

以前質問した、プレミアム商品券の発行、町内巡回バス、私道の補修はその後どうか。

A

昨年11月、熊野町商工会から要望書が提出され、商品券発行などが予定されている。

地域経済の活性化により、地元の消費拡大が期待される。

巡回バスは、昨年地域懇談会において、町内を3地区に分けてジャンボタクシー程度を走らせる案を説明し、ワークシoppも開催した。これらをもとに、生活福祉交通実証実験運行計画を作成する。

私道の補修は、地元の申請により職員が調査を行い、一定の要件を満たすものについて、平成24年度から修繕の材料について助成をする方向。